

事業番号	04 05 03	事業改善シート（令和6年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	県民の学び支援事業費	部局	県民文化部	課・室	県民の学び支援課				
		実施期間	R2 ～	E-mail	ken-manabi @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

本県では、教育を大切にする風土と県民性が伝統的に受け継がれているが、変化が急激で先を見通すことが難しいこれからの時代においては、新しい価値やより良い社会を創造する力を育むことが重要であり、誰もが主体的に学び続けることができる多様な学びの場の充実が求められている。

2 事業目的

一人ひとりの特性や状況に応じた多様な学びの場を充実させていくことで、子どもから大人まですべての県民が主体的に学び、これからの時代に求められる力を育むことができる環境を創出する。

3 事業目的を達成するための取組

①特色ある信州の学びの創造

- ・「信州学び円卓会議」開催事業の実施
- ・「Learn by Creation NAGANO実行委員会」にかかる活動（イベント開催等）
- ・アドバンス・ラーナーを対象とした自由研究型プログラムの開催を支援

②信州自然留学（山村留学）受入支援・魅力発信事業の実施

- ・団体間の運営ノウハウの共有を図るため、意見交換を実施
- ・山村留学合同説明会における集客力強化を図るため、WEB広告を活用した情報発信を実施
- ・受入団体の体制や特色など山村留学に係る情報を分かりやすく発信するため、ポータルサイトを運用

③みらい基金と協働した信州の特色ある学び支援事業の実施

（公財）長野県みらい基金と協働し、信州の特色ある学びを行う団体の寄付募集を支援



信州学び円卓会議



信州自然留学（山村留学）ポータルサイト

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし ―：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績			
①	「Learn by Creation NAGANO」等の参加人数	人	-	144	-	248	↗	900	未達成 県民の意識醸成効果を測るため参加人数を指標として設定。 ※R4年度は開催方法の見直しにより、人数による実績値なし。
②	信州自然留学（山村留学）の受入団体数	団体	16	17	↗	17	→	20	未達成 信州自然留学（山村留学）の取組を全県に広げるため、受入団体数を指標として設定。R5年度の17団体に加え、新規に3団体の増加を目指し20団体を目標とする。
③	延べ寄付目標金額に対する達成率	%	65.1	63.0	↘	47.5	↘	70.0	未達成 特色ある学びの場の充実に要する資金調達の度合いを測るため、指標として設定。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進										
5-2①	一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出	☆信州自然留学(山村留学)者数	人	2023 (R5)	184	2024 (R6)	178	2025 (R7)	195	2027 (R9)	340
5-4①	学びの共創による地域づくりの推進と生涯を通じた多様な学びの創造										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	22,377	0	22,377	16,825	21,007	5.0
R5年度	0	18,188	1,476	19,664	14,840	18,961	5.0
R4年度	0	8,813	7,258	16,071	9,118	15,719	3.0

事業番号	04 05 03	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	県民の学び支援事業費		部局	県民文化部	課・室	県民の学び支援課

7 主な取組実績と成果

①特色ある信州の学びの創造

- ・これまでの議論に基づき、「学びの『新しい当たり前』を共に創る」メッセージを発信するとともに、本メッセージに基づく意見交換やフォーラムを実施した。
- ・県内外の新しい学びに触れるためのイベント「障害のある人と共に表現でひらく学びの環境」を開催（街歩きワークショップ、パネルディスカッション等）し、248名の参加があった。
- ・「Learn by Creation NAGANO実行委員会」活動において、「学びとの出会い直し」を目的とした「旅する本箱」事業などのプロジェクトを実施した。
- ・アドバンス・ラーナーに係る認識の浸透が進みつつあり、プログラムに参加する子どもの数が前年度当初の3倍以上に増加した。



信州学び円卓会議フォーラム

②信州自然留学（山村留学）受入支援・魅力発信事業の実施

- ・山村留学を検討している家庭向けに県内受入団体による合同説明会を2回実施し、計30組の参加があった。
- ・県内の受入団体の情報を一元的にまとめた「信州自然留学（山村留学）ポータルサイト」を運用し、合同説明会の資料を掲載するなど、県内外に山村留学に係る情報を分かりやすく発信した。



Learn by Creation NAGANO

③みらい基金と協働した信州の特色ある学び支援事業の実施

- ・（公財）長野県みらい基金に対して、寄付募集に必要な事務手数料相当額及び寄付募集团体に対するPR支援経費を補助。
- ・特色ある学びに取り組む23団体が寄付募集を行い、延べ約1,261万円の寄付が集まった。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	「Learn by Creation NAGANO」等の参加人数	R5年度推移	-	R6年度推移	↗	達成状況	未達成
R6年度のイベントは、障害のある人の学びに焦点をあて、街歩き、パネルディスカッション、交流会等、多くのプログラムが用意されたため、R5年度のイベントよりも参加人数は増えたものの、目標値には届かなかった。							
指標②	信州自然留学（山村留学）の受入団体数	R5年度推移	↗	R6年度推移	→	達成状況	未達成
信州自然留学の取組に関心のある市町村にヒアリングを行うなど、積極的に普及啓発を行ったものの、受入態勢の整備等に課題が残ったため、目標値には届かなかった。							
指標③	延べ寄付目標金額に対する達成率	R5年度推移	↘	R6年度推移	↘	達成状況	未達成
街頭啓発の実施や県公式LINEの活用など、新たな広報活動に取り組んだものの、寄付者への訴求力が不足していたこと、大口寄付が減少したことなどから、目標値には届かなかった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題
・「信州学び円卓会議」開催事業については、これまでの議論や意見交換の成果を県全体に波及させていく必要がある。 ・Learn by Creation NAGANOについては、実行委員会の活動がより県民に受け入れられるよう、イベント開催方法のさらなる検討及びその他プロジェクトの幅を広げて取り組んでいく必要がある。 ・信州自然留学（山村留学）受入支援・魅力発信事業については、令和4年度に信州自然留学（山村留学）推進協議会を設立したが、今後魅力ある信州自然留学を発信していくためには、保護者が安心して利用できるよう、受入団体の質の担保が重要である。 ・みらい基金と協働した信州の特色ある学び支援事業については、寄付制度に係る認知度の向上に取り組んでいくとともに、寄付を促す効果的な広報活動に取り組んでいく必要がある。
(2) 事業改善の方策
・「信州学び円卓会議」開催事業については、様々な主体が自身のアクションと責任を明確化し、具体的な実践へと移していくことを促すために、様々な主体の連携・協働の促進、具体的な実践に向けたサポート、取組状況の共有や県民全体の機運醸成を図っていく。 ・Learn by Creation NAGANOについては、トークイベント以外のワークショップ等も積極的に実施し、複数のテーマに取り組むなどして関係人口拡大を図る。また、従来のHPやSNSに加え、委員自身の専門領域におけるネットワーク、コミュニティ等のリソースを積極的に活用することで、イベントや活動内容等をより広く周知していく。 ・信州自然留学（山村留学）受入支援・魅力発信事業については、SNS等を積極的に活用した普及啓発の範囲を広げるとともに、協議会において、各団体に共通する課題の解決に向けた意見交換を行う等、受入団体のさらなる質の向上・担保を図る。 ・みらい基金と協働した信州の特色ある学び支援事業については、寄付者のニーズを踏まえた上で、複数媒体を組み合わせた効果的なPRを検討、実施するとともに、寄付募集团体の寄付集めに係る意識醸成のため、相互交流会や研修の実施等に取り組む。

事業番号	04 05 03	細事業一覧（令和6年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	県民の学び支援事業費		部局	県民文化部	課・室	県民の学び支援課	

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	「信州学び円卓会議」開催事業		－ 千円	6,518 千円	11,305 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州学び円卓会議等の開催	負担金	・信州学び円卓会議及び県民意見交換会の開催 ・地域住民が学びについて自ら考える対話・検討の場の開催支援（中山間地域） 信州学び円卓会議 3 回、県民意見交換会 1 回、地域版信州学び円卓会議 3 回、フォーラム 1 回開催		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	信州学び創造事業費		8,685 千円	8,260 千円	6,719 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	「Learn by Creation NAGANO実行委員会」にかかる活動（イベント開催等）	負担金	・イベント「Learn by Creation NAGANO」の開催 ・学びに関わる人同士の交流の促進やコミュニティの構築に関する企画運営		
			イベント1回開催、その他2プロジェクト実施		
2	信州サマー・ウィンタースクールの推進	直接	アドバンス・ラーナーを対象とした自由研究型プログラムの開催		
			プログラム1回開催		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	信州自然留学（山村留学）受入支援・魅力発信事業		4,034 千円	667 千円	737 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州自然留学（山村留学）推進協議会の運営	直接	・団体間の運営ノウハウの共有を図るため、意見交換を実施 ・受入団体の活動の充実を図るため、先進事例地への視察や調査・研究を実施 協議会 2 回開催		
2	信州自然留学（山村留学）の魅力発信	委託	・山村留学合同説明会における集客力強化を図るため、WEB広告を活用した情報発信を実施 ・受入団体の体制や特色など山村留学に係る情報をわかりやすく発信するため、ポータルサイトを運用 説明会 2 回開催		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
4	みらい基金と協働した信州の特色ある学び支援事業		3,000 千円	3,516 千円	2,246 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	みらい基金と協働した信州の特色ある 学び支援事業補助金	補助金	（公財）長野県みらい基金に対して、次の経費を補助 ①長野県みらいベースを活用して行う寄付募集に必要な事務手数料相当額 ②（公財）長野県みらい基金による寄付募集团体に対するPR支援経費		
			補助額2,246千円、寄付募集团体23団体		